

研究彙報 (昭和64年・平成元年1月～平成元年12月)

●特別展覧会

狩野芳崖

会期 二月二十八日(火)―四月二日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館・京都新聞社

狩野芳崖の没後百年を記念し、彼の百四十余件の作品および資料を展観。

平城京展

会期 四月十八日(火)―五月二十八日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館・奈良国立文化財研究所・朝日新聞社

平城京の発掘調査三十周年を記念し、出土品や伝世品、約八百点を展観。

●特別陳列 (▽印は毎年の定例的な陳列)

▽十二天画像と山水屏風 一月四日(水)―二月五日(日)

新館十一号室 担当 泉 武夫

東寺伝来の国宝「十二天画像」、「山水屏風」を陳列。

▽鉄斎と人物画 一月四日(水)―二月五日(日)

新館九号室 担当 金沢 弘

近代の文人画家、鉄斎の人物画を陳列。

▽高台寺蒔絵と南蛮漆器 一月四日(水)―二月五日(日)

新館十五・十七号室 担当 灰野昭郎

近世の蒔絵を代表する高台寺蒔絵と、ヨーロッパへ輸出された南蛮漆器を陳列。

陳列。

狛犬 一月四日(水)―四月九日(日)

新館七号室 担当 伊東史朗

最も日本的な展開を見せた平安時代後期・鎌倉時代の作例を展示。

▽古筆と手鑑 二月八日(水)―三月五日(日)

新館十三号室 担当 下坂 守

平安の王朝貴族の美意識を伝える「石山切」をはじめ、古筆・手鑑の名品を陳列。

▽人形 二月二十三日(木)―三月二十六日(日)

新館十四・十七号室 担当 切畑 健

雛祭にちなみ、雛・嵯峨・賀茂・御所・衣裳人形を陳列。

釈迦金棺出現図と釈尊像 四月二十五日(火)―五月七日(日)

新館八号室 担当 泉 武夫

修理完成を記念し、釈尊像の名作とともに陳列。

美術に見る説話の表現 六月七日(水)―七月二日(日)

新館八・十七号室

社寺縁起を中心に、説話表現を伴う東洋の美術・工芸品を陳列。

▽新収品展 七月五日(水)―八月六日(日)

新館十二号室

昭和六十三年度に受贈・購入した十三件の作品を陳列。

京洛社寺の名宝 十月三日(火)―十一月十二日(日)

新館八・十三・十七号室

京都・宇治の社寺から寄託されている名品を陳列。

▽坂本龍馬の関係遺品 十一月十四日(火)―十二月二十四日(日)

新館十七号室 担当 稲田 和彦

幕末の志士、坂本龍馬の遺品を陳列。

●出版刊行

『狩野芳崖』 特別展覧会図録 二月

特別展覧会「狩野芳崖」の概説および各個別解説付総目録。A4版、総頁数二四八頁、収録図版原色一五一図、頒価二千円。

『京都国立博物館図版目録 絵画編 中国・朝鮮・日本(桃山時代以前)』 三月

昭和六十三年三月三十一日現在で当館保管の絵画部門のうち、中国・朝鮮と日本の桃山時代以前の作品、二三八件を収録。B5版、図版単色二三八

図、頒価四二〇円。

『京都国立博物館 学叢』第十一号 三月

当館職員による研究紀要。論文五篇、作品研究一篇、資料紹介二篇、研究随想、修理報告、研究彙報、英文概要などを収録。A4版。総頁数二二六頁、図版原色八図、単色一四〇図、頒価三千円。

『京都社寺調査報告』IX 三月

当館が昭和六十三年度に実施した京都社寺調査の報告書。智積院。A4版、総頁数九六頁、図版三五図。非売品。

『研究発表 仁和寺の仏教美術』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告と座談会 書十八冊 三月

昭和六十三年六月二十日に行われたシンポジウムの報告。A4版、総頁数四八頁、図版単色三二図。頒価九百円。

『平城京展』 特別展覧会図録 四月

特別展覧会「平城京展」の概説および各個別解説付総目録。変形B5版、総頁数一八六頁、収録図版原色一五八図。頒価千七百円。

『京洛社寺の名宝』 十月

特別陳列の図版目録 B5版、総頁数二二頁、図版原色四図、単色三四図。頒価三百円。

『研究発表 平城京における宗教美術の諸問題』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書十九冊 十二月

平成元年五月二十二日に行われたシンポジウムの報告。A4版、総頁数五〇頁、図版単色二三図。頒価九百円。

●シンポジウム

研究発表と座談会「平城京における宗教美術の諸問題」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会（代表 上山春平）

期日 五月二十二日（月）

会場 京都国立博物館

参加者 約百名

研究発表 京内寺院遺跡―薬師寺を中心として―（田辺征夫）、薬師寺金堂薬師三尊像（伊東史朗）、奈良時代の祈りとまじない（金子裕之）

座談会（司会 森 郁夫）

●国内における調査研究

金剛峯寺蔵中尊寺経を中心とした中尊寺経に関する総合研究 担当 上山春

平・泉 武夫ほか

平安京条坊設定に関する復原的研究 担当 森 郁夫ほか

奈良・平安時代の武装形像の形式に関する基礎的研究 担当 伊東史朗

東洋染織美術史上における経錦から緯錦への転換に関する考察 担当 切畑 健

近世初期漢画諸派における朝鮮絵画からの影響について―雲谷派・曾我派の

場合― 担当 山本英男

銅鐸群の変遷 担当 難波洋三

万福寺の文化財調査 担当 西上 実ほか

清水寺の文化財調査 担当 灰野昭郎ほか

●海外における調査研究および出張

赤尾栄慶 一月三十一日―八月十八日（行先 中国・英国・仏国・オーストリア・スウェーデン） 昭和六十三年文部省在外研究員として、「敦煌写本」に関する調査。

狩野博幸 二月十五日―二月二十二日（行先 韓国） アメリカ合衆国） アメリカ大学美術史学会（CAA）に出席及び近世絵画の調査研究。

河原正彦 二月二十日―二月二十四日（行先 韓国） 韓国国立中央博物館所蔵の日本陶磁の調査。

金沢 弘 三月十一日―三月十九日（行先 ベルギー） ルーバン市立美術館における特別展覧会「富岡鉄斎展」開催打合せ

下坂 守 三月二十六日―三月二十九日（行先 台湾） 故宮博物院所蔵の書跡資料の調査。

河原正彦 四月二十二日―四月二十四日（行先 韓国） 韓国国立中央博物館所蔵の日本陶器の調査。

伊東史朗 五月八日―五月二十日（行先 西ドイツ） 中央アジア仏教美術の調査。

狩野博幸 五月二十一日―五月三十一日（行先 アメリカ合衆国） フランク・ロイド・ライト財団所蔵の日本絵画の調査。

若杉準治 九月十日―十二月一日（行先 スウェーデン・西ドイツ・イタリア・スペイン・フランス・イギリス） 平成元年度文部省在外研究員として「ヨーロッパ所在の日本の中世絵画及びヨーロッパの中世説話画」に関する調査。

狩野博幸 九月十九日―十一月七日（行先 アメリカ合衆国） 「若冲展」の展示指導（文化庁併任）

難波洋三 十月二日―十二月十七日（行先 パキスタン） 文部省科学研究費（海外学術調査）によるガンダーラ仏教遺跡の総合調査。

伊東史朗 十月十日―十月二十四日（行先 アメリカ合衆国） 平成二年度

特別展「院政期の仏像」の出品文化財事前調査。

金沢 弘 十月二十七日―十一月四日（行先 ベルギー） ルーバン市立美術館における特別展覧会「富岡鉄斎展」の出品文化財随伴。